

2019年3月10日 間伐研修報告

天候：晴れ

場所：ときがわ森林インストラクターの森

講師：横山 功 氏

参加者：15名

報告者：善宝 俊文



現場に到着後、講師から1時間ほど講義があり、その後午前中に2本の間伐作業を行った。昼食をはさみ、午後は、灌木の伐採、クルミの苗2本の植え付け、カエデなどの樹液回収を行った。

講義は、服装の基本（必ず長袖・長ズボンで明るい色・目立つ色を着用）、ノコギリの使い方、間伐の進め方（下層間伐が一般的）、木の重心の見分け方（谷側に偏る）、望ましい伐倒方向（上下方向は避ける）、受け口・追い口の機能と切り方、ツルの機能、かかり木が発生した場合の対処方法、滑車・スリング・ロープの使い方など実践および指導に役立つ内容であった。なお、ヘルメットは消耗品であるとの注意があった。

実際に行った間伐作業では、未経験者が交代で体験したものの、なかなか講義通りには上手くいかず、作業を確認・修正しつつ2本を伐採することができた。なお、作業に夢中なり過ぎて、周囲への注意が疎かになりがちになるとの指摘があった。

報告者にとっては、昼食時、事前に採取されていたミズキの樹液を飲むことができたこと、長いロープを振り分けて束ねる方法を学べたことが新鮮な体験であった。





【ミズキの樹液採取】



3月5日にセット

3月10日に2リットル採取し、試飲